

日本外傷データバンクへの外傷患者登録と 登録データを用いた臨床研究に関するお知らせ

愛媛県立中央病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：（倫理委員会審査承認日）～ 2023年3月31日

〔研究課題〕 日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究

〔研究目的〕 **〔研究意義〕** 重症患者さんに行っている診療とその結果に関する情報を、日本救急医学会および日本外傷学会が日本外傷データバンクとして全国規模で広く集積することで、各施設における外傷診療のデータを全国データと比較することにより各参加施設における診療の現状を明らかにし、診療の質向上に寄与することを目的とします。さらに集積されたデータを分析することで、どの診療行為が予後を改善し得るか明らかにすること、診療精度の向上、予後予測指標の作成などの研究を実施することによって、本邦全体の外傷診療システム向上に寄与することを併せて目的としています。

〔対象・研究方法〕 2022年4月1日から2023年3月31日までに愛媛県立中央病院高度救命救急センターおよび日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急医療施設の中で研究への協力が得られた救急医療施設において、重症外傷（6段階の重症度スコアで3以上）と診断された全ての患者さんが対象となります。診療録の中において、年齢、性別、受傷日時、受傷原因、受傷現場および病院到着時のバイタルサインおよび処置、既往歴、所見（身体所見・検査所見など）、救命処置、輸血の有無、診断名、合併症、入退院情報（入院先、入院日数、退院先、転帰）に関する情報を匿名化して、インターネットを用いて外傷データバンクに登録します。その後、集計・解析を行い、検討を行います。

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力されないため、対象者個人の不利益になることはありません。匿名化したデータは、学術的研究施設に提供されますが、診療の質評価及び研究目的以外には使用しません。データの取り扱いについて、適宜日本外傷データバンクが監督しています。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：救命救急センター長 馬越健介 情報管理責任者：救急科部長 田中 光一
住所：愛媛県松山市春日町83 TEL:089-947-1111, FAX:089-943-4136